

インフキュリオン・グループ、「2019年版 決済動向調査」を発表

株式会社インフキュリオン・グループ（本社：東京都千代田区、代表取締役：丸山 弘毅）は、生活者の決済動向などを調査する「決済動向調査」を2015年から毎年実施しています。今年は、昨年に引き続きデビットカード・プリペイドカードの利用がさらに増加しました。また、QRコード決済の認知度が大きく向上し、「キャッシュレス派」の比率が全体の半数に迫るなど、キャッシュレス決済の浸透がうかがえる結果となりました。以下、調査結果の主なポイントをご紹介します。

<調査結果のポイント>

■ ブランドデビットとブランドプリペイドの利用が5年連続で増加

ブランドデビットの利用者は昨年比約2割増。

■ 約50%がキャッシュレス派

「キャッシュレス派」が47.9%、「現金派」が52.1%となりました。また、年齢が高くなるにつれ「キャッシュレス派」の比率が増え、最もキャッシュレス決済を利用しているのは男女ともに60代との結果になりました。

■ キャッシュレス派が最も多い都道府県は千葉県。次いで三重県

■ QRコード決済アプリの利用率は11.6%

- ・ 1位はPayPay、2位は楽天ペイ、3位はLINE Pay、4位はd払いと続きます。
- ・ PayPay、楽天ペイは男性の利用が多く、d払いは女性の利用者が多い傾向。また、LINE Payは若年層に人気。
- ・ QRコード決済利用者は、男性が約60%。特に30代男性に多く利用されています。

■ 家電量販店や百貨店、ガソリンスタンド、公共交通機関では、キャッシュレス派が過半数

一方で、タクシーや医療機関では現金の利用が多く、これらの業界はキャッシュレス化のポテンシャルが高いことがうかがえます。

<調査概要>

調査手法：2段階（全体調査・詳細調査）のインターネット調査

調査地域：全国

対象者条件：16～69歳男女

	全体調査	詳細調査
目的	主要ペイメントカードの保有・利用状況の調査	8セグメント*ごとの、生活行動・金融行動・決済行動の調査
対象人数	20,000人	824人（103人×8セグメント）
調査期間	2019年3月13日～19日	2019年3月18日～3月19日

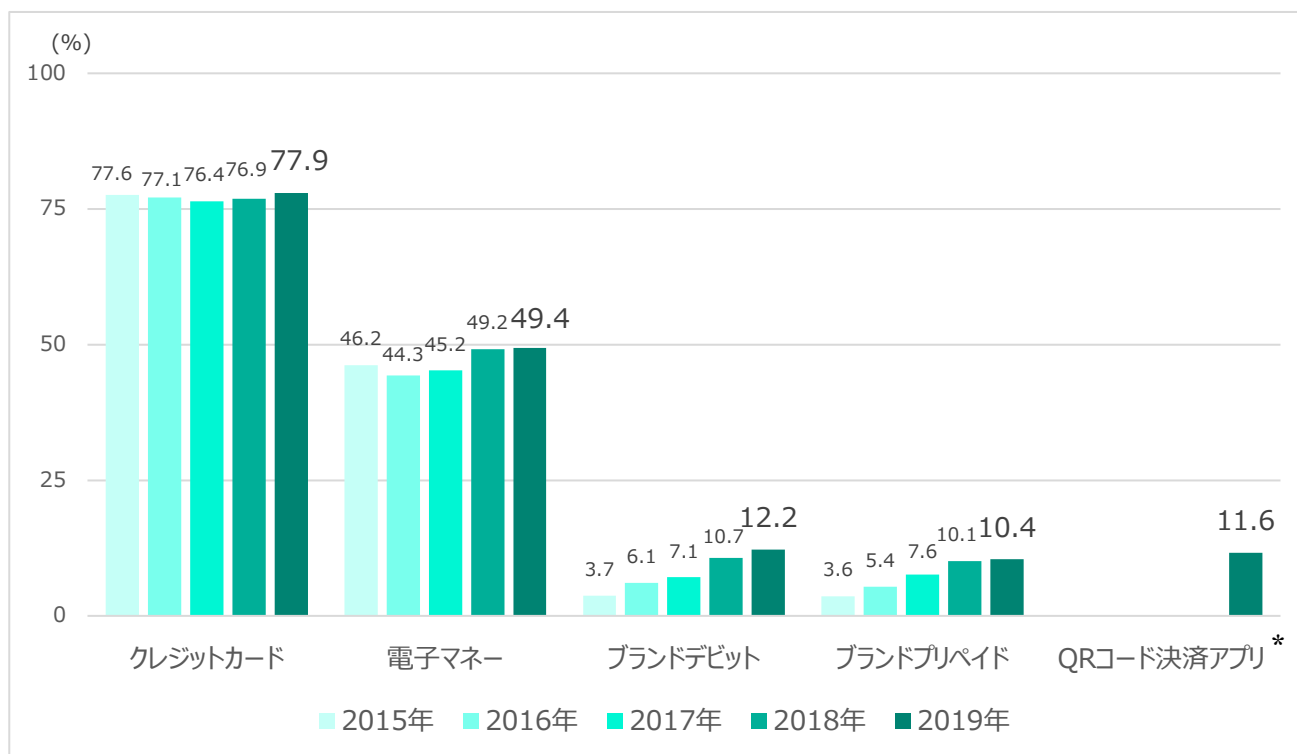
*8セグメント詳細は最終ページ参照

「2019年版 決済動向調査」は、過去調査と同様の調査方法で実施しました。2015年から毎年実施している結果を踏まえ分析しています。

<調査結果>

■ ブランドデビットとブランドプリペイドの利用が5年連続で増加。ブランドデビットの利用率は昨年比約2割増。

各カテゴリーのうちいずれかのサービスを「利用している」と回答した割合(n=20,000)



*「QRコード決済アプリ」は、2019年から調査

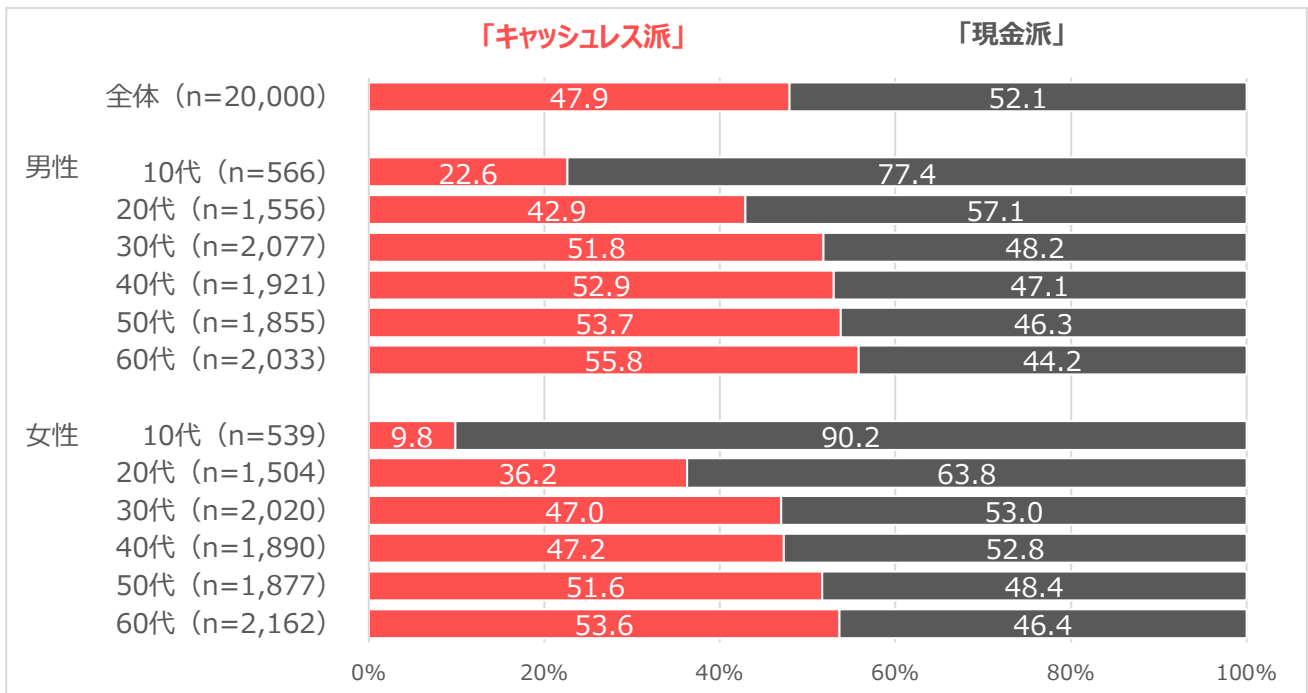
■ 約50%がキャッシュレス派。年齢とキャッシュレス決済の利用率は比例傾向。

全体調査では、「キャッシュレス派」*1が47.9%、「現金派」*2が52.1%となりました。また、年齢が高くなるにつれ「キャッシュレス派」の比率が増え、最もキャッシュレス決済を利用しているのは男女ともに60代との結果になりました。

*1 過去1年の決済において、「キャッシュレス決済が多い」、「現金とキャッシュレス決済がだいたい同じくらい」を選択した回答者

*2 過去1年の決済において、「現金が多い」、「キャッシュレス決済手段を持っていない」を選択した回答者

「キャッシュレス派」・「現金派」 性年代別比率



■ キャッシュレス派が最も多い都道府県は千葉県。次いで三重県。

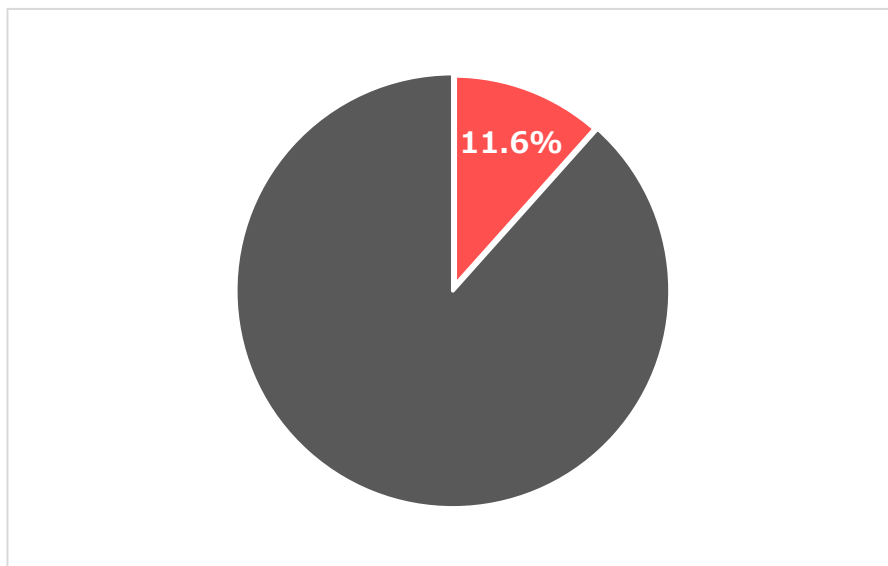
「キャッシュレス派」・「現金派」の比率による都道府県ランキング（キャッシュレス派上位15位まで）

順位		キャッシュレス派	現金派
	全体	47.9	52.1
1	千葉県	55.2	44.8
2	三重県	53.0	47.0
3	神奈川県	53.0	47.0
4	東京都	52.7	47.3
5	茨城県	52.6	47.4
6	愛知県	52.4	47.6
7	沖縄県	51.7	48.3
8	山梨県	51.0	49.0
9	香川県	51.0	49.0
10	福島県	50.2	49.8
11	静岡県	49.9	50.1
12	奈良県	49.8	50.2
13	岐阜県	49.3	50.7
14	兵庫県	49.2	50.8
15	富山県	48.9	51.1

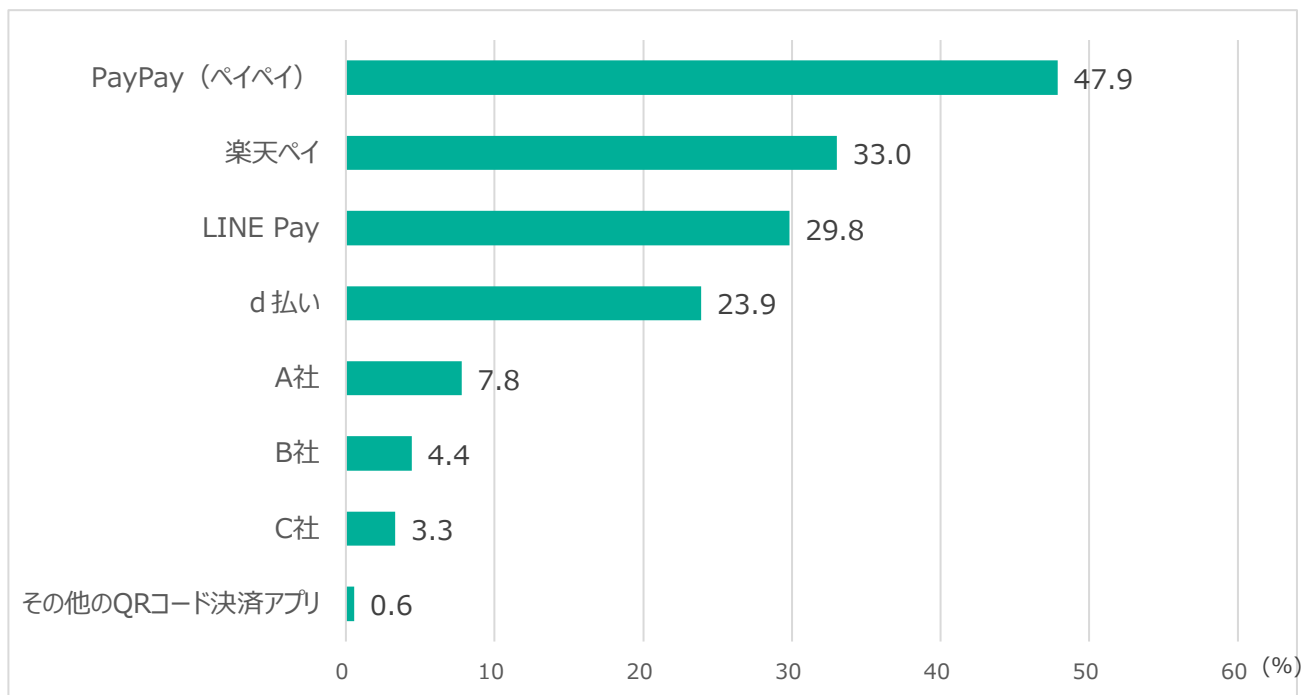
■ QRコード決済アプリの利用率は11.6%。1位はPayPay、2位は楽天ペイ、3位はLINE Pay、4位はd払いと続く。

QRコード決済アプリの利用率は11.6%で、ブランドデビット（12.2%）に迫る結果となりました。また、利用アプリのランキングではPayPayが47.9%で利用率1位となりました。

調査対象2万人のうち、QRコード決済アプリ利用者は11.6%（2,326人）

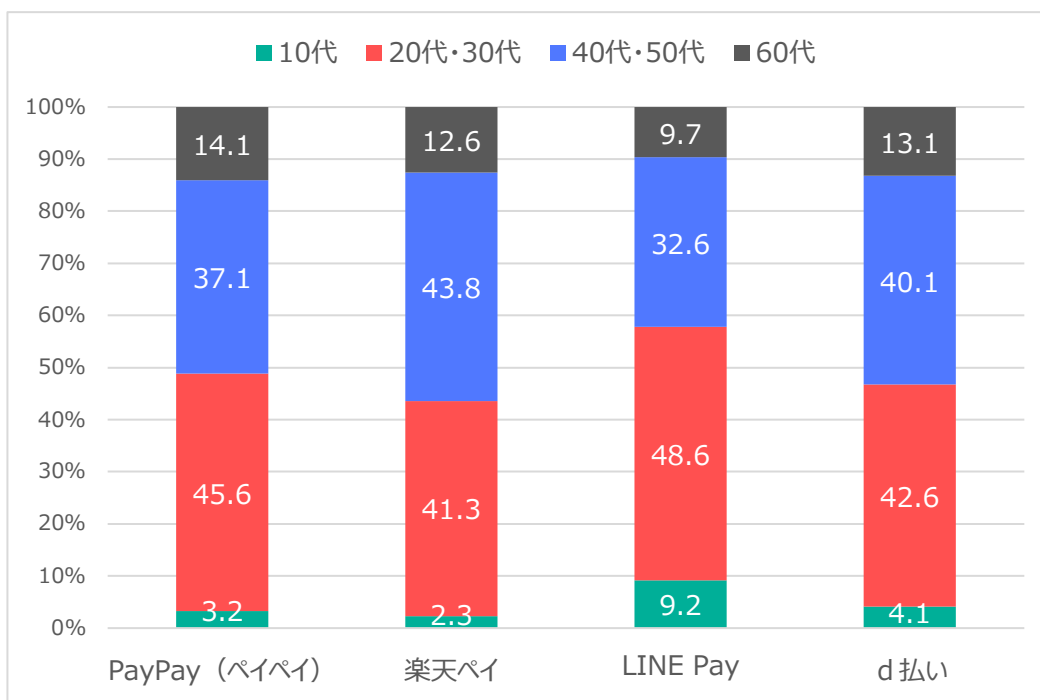
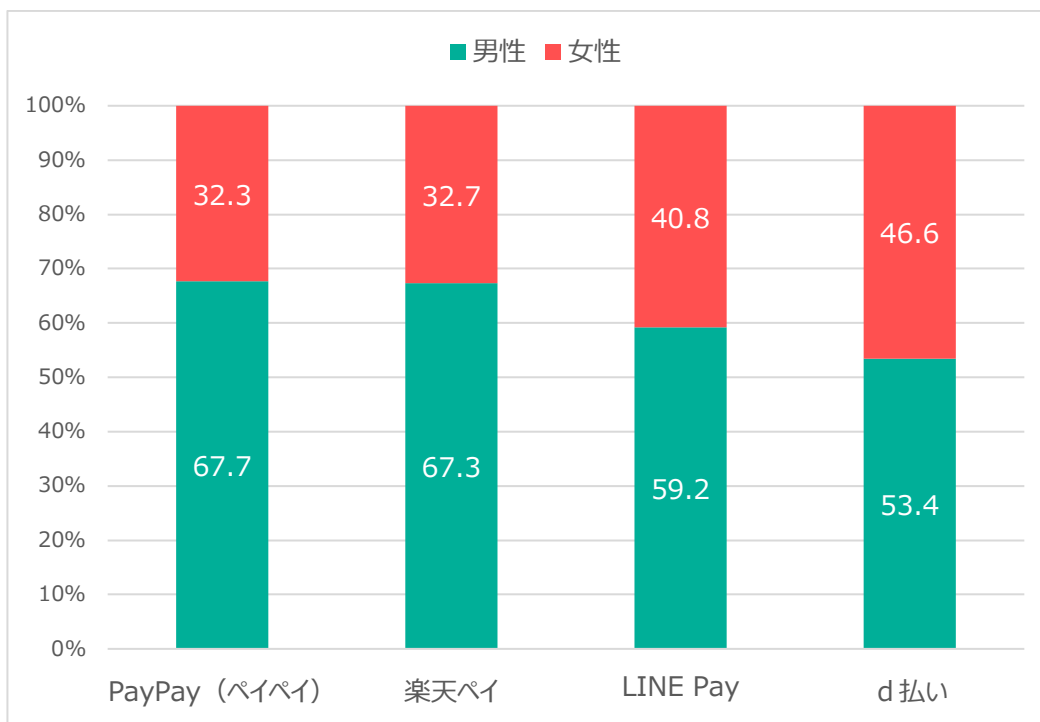


QRコード決済各アプリの利用率（QRコード決済アプリ利用者ベース n=2,326）



- PayPay、楽天ペイは男性の利用が多い。d払いは女性の利用者が多い傾向。また、LINE Pay は若年層に人気。

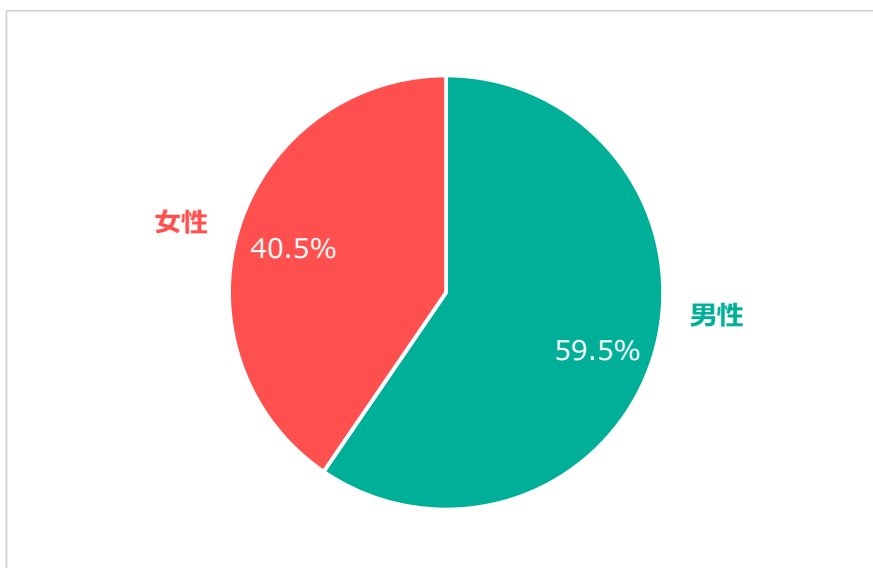
主要4アプリの利用者の性別・年齢構成



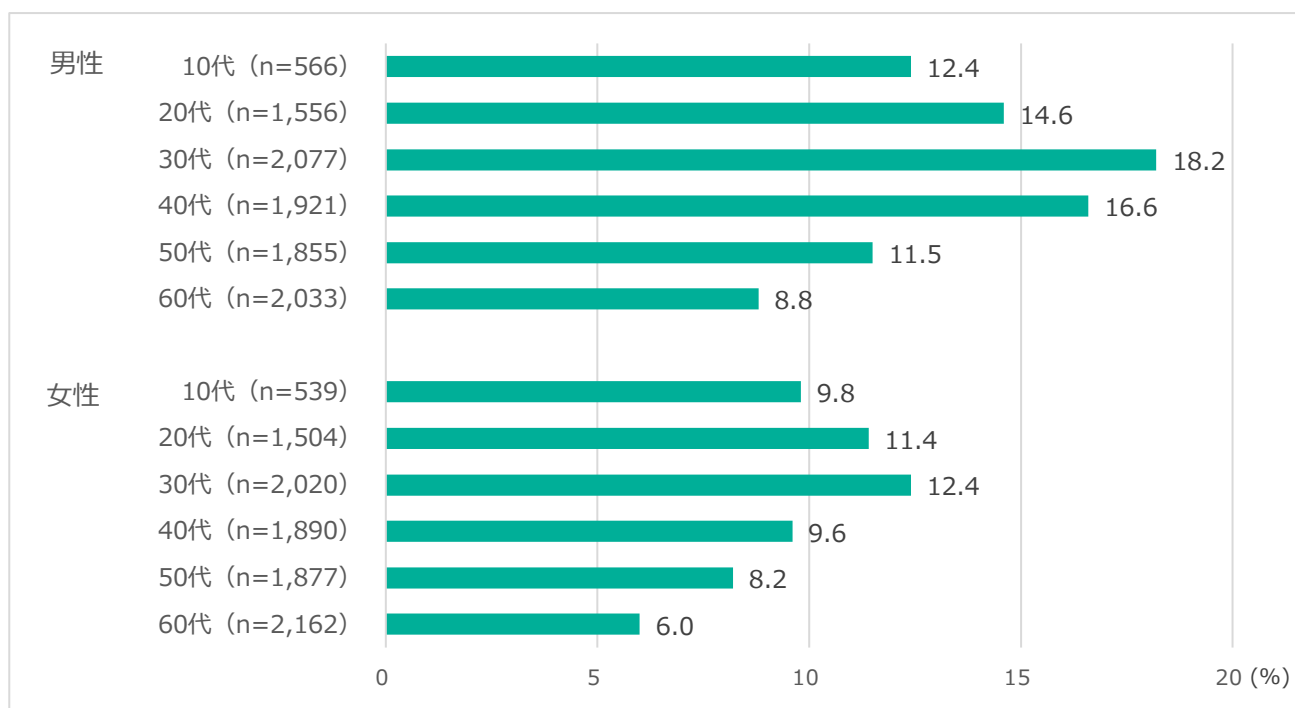
*PayPay (ペイペイ) : n=1,114 楽天ペイ : n=768 LINE Pay : n=694 d払い : n=556

■ QRコード決済利用者は、男性が約60%。特に30代男性に多く利用されている。

QRコード決済アプリ利用者の男女構成



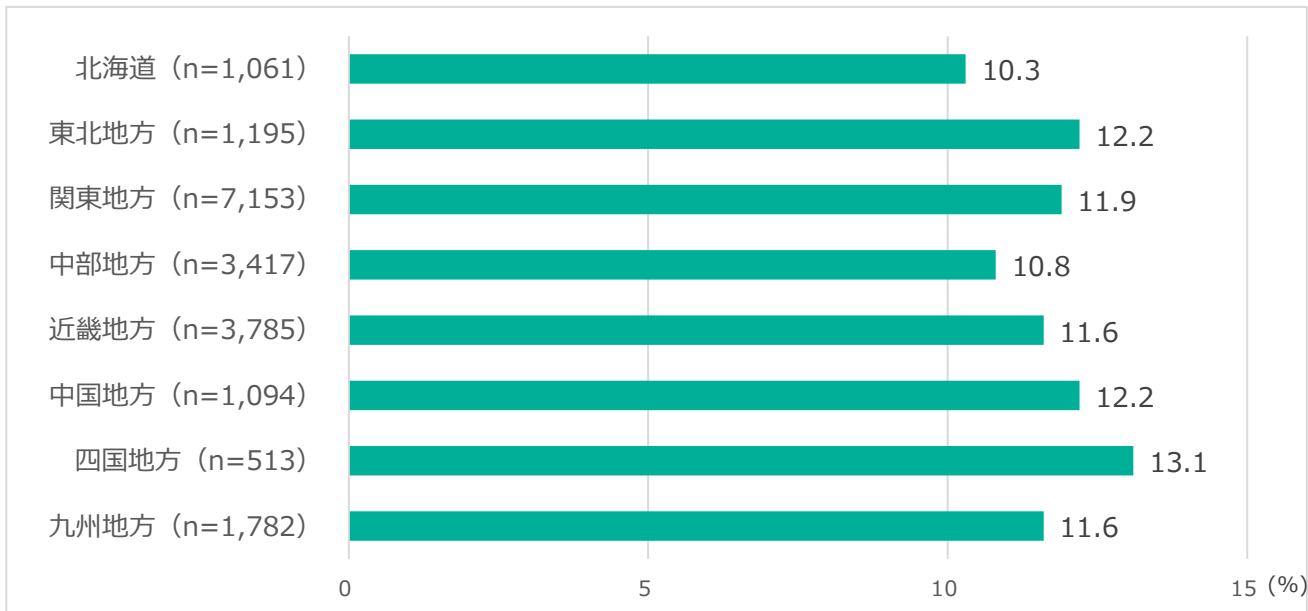
性・年代別 QRコード決済アプリ利用率



■ QRコード決済は日本全国でまんべんなく利用されている。

QRコード決済の利用率に地域による差はほとんどなく、全国で偏りなく利用されている様子が見えます。

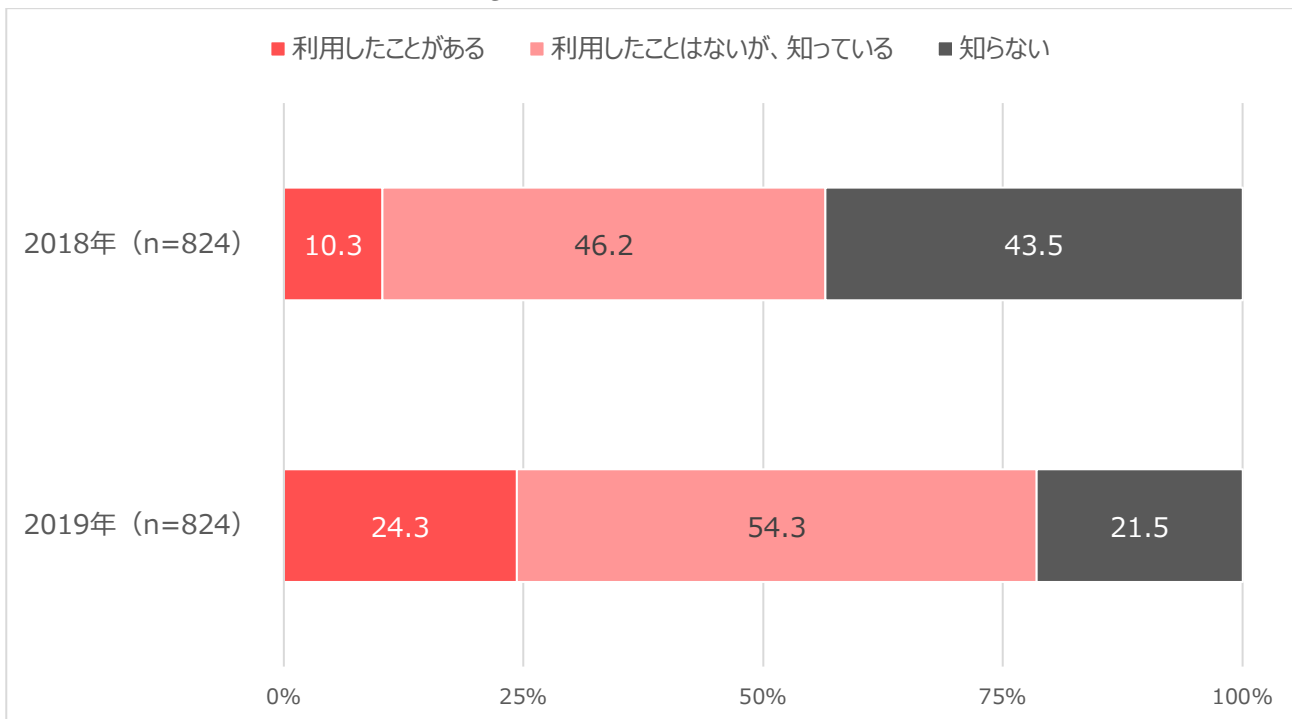
地域別 QRコード決済アプリ利用率



■ QRコード決済サービスの認知率が大幅に向上。

QRコード決済の認知率は78.6%となり、前回調査（2018年）の56.5%から大きく向上しました。

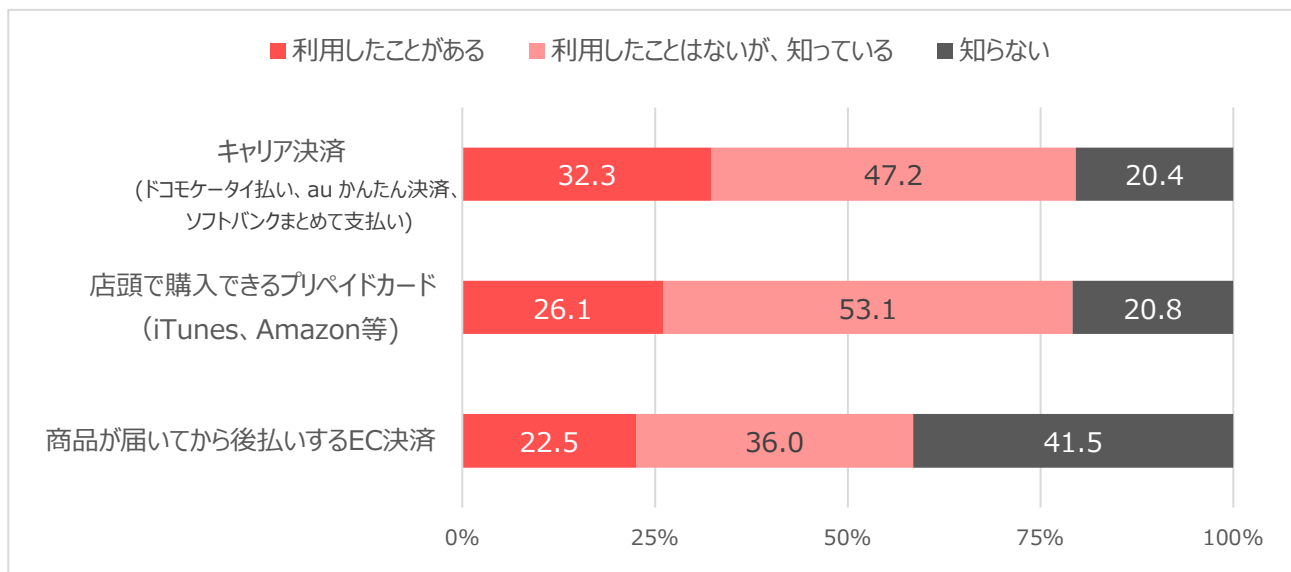
QRコード決済サービスの認知率



■ EC向け決済では、約8割がキャリア決済およびPOSAカード*を認知。後払い決済も半数以上に認知されている。

*POSAカード：店頭で購入できるプリペイドカード（iTunes、Amazon等）

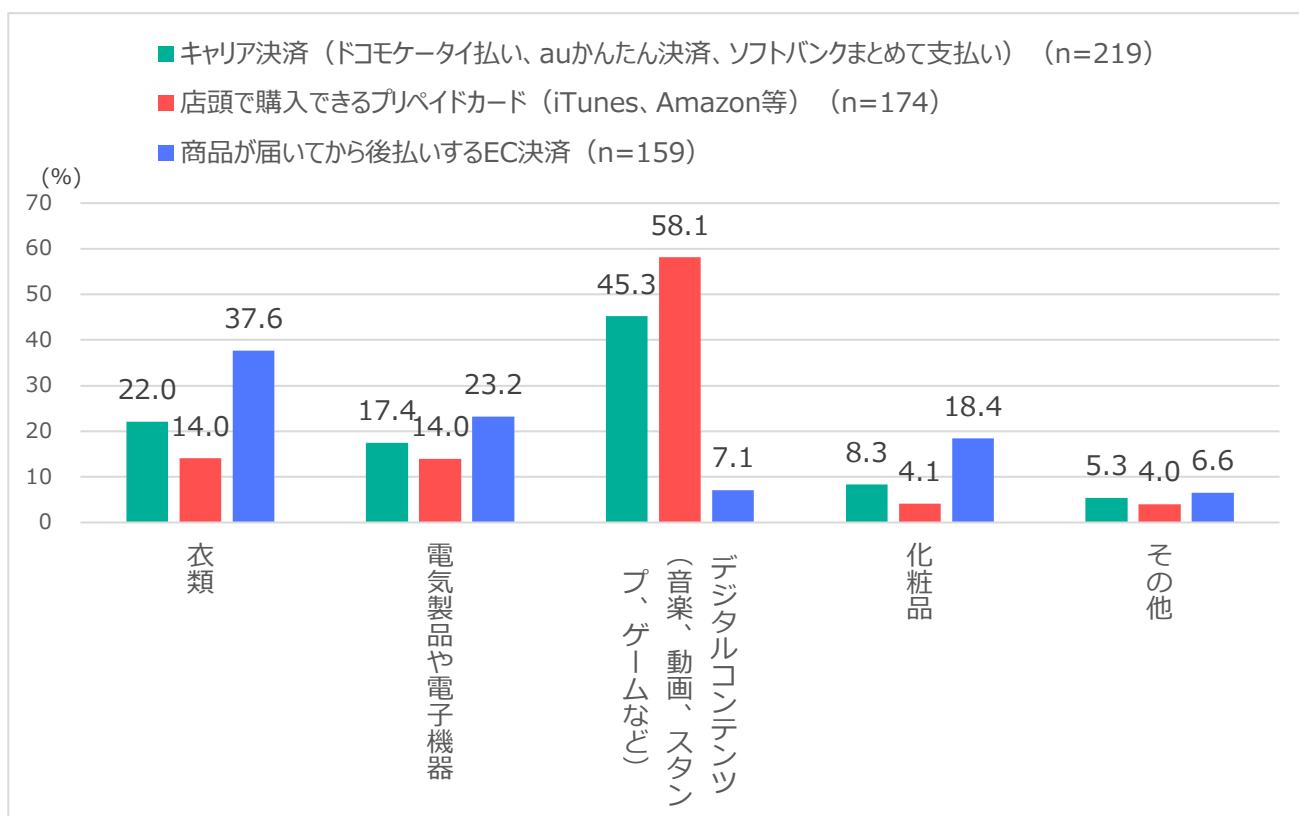
決済手段別認知率（インターネットショッピング利用者ベース n=686）



■ キャリア決済、POSAカードはデジタルコンテンツの購入で多く利用。後払い決済は化粧品や衣類の購入時に人気。

キャリア決済、POSAカード（店頭で購入できるプリペイドカード）は、デジタルコンテンツの購入時に多く利用されている一方、後払い決済は化粧品や衣類の購入時に多く利用されており、決済手段によって利用方法に偏りがある結果となりました。

決済手段別利用率（インターネットショッピング利用者中、各決済手段利用者ベース）



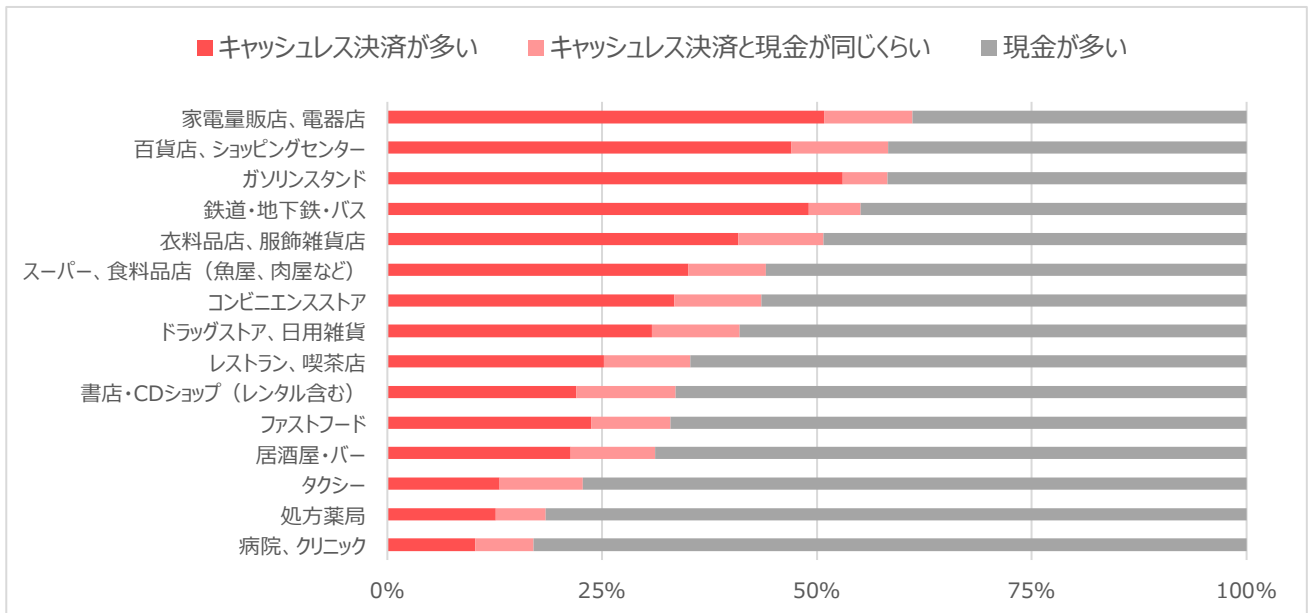
*その他、「書籍」「家具」なども調査

■ 家電量販店や百貨店、ガソリンスタンド、公共交通機関では、キャッシュレス派が過半数。

家電量販店や百貨店、ガソリンスタンド、公共交通機関では、「キャッシュレス派」*が過半数を超えました。一方で、タクシーや医療機関では現金の利用が多く、これらの業界はキャッシュレス化のポテンシャルが高いことがうかがえます。

* 利用している店舗や施設での支払いの際に、「キャッシュレス決済が多い」、「キャッシュレス決済と現金が同じくらい」を選択した回答者

店舗等利用先別キャッシュレス・現金比率（各店舗等利用者ベース）



<調査概要>（一部再掲）

調査手法：2段階（全体調査・詳細調査）のインターネット調査

調査地域：全国

対象者条件：16～69歳男女

	全体調査	詳細調査
目的	主要ペイメントカードの保有・利用状況の調査	8セグメントごとの、生活行動・金融行動・決済行動の調査
対象人数	20,000人	824人（103人×8セグメント）
調査期間	2019年3月13日～19日	2019年3月18日～3月19日
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカードの保有・利用 デビットカードの保有・利用 プリペイドカードの保有・利用 電子マネーの保有・利用 QRコード決済アプリの保有・利用 自分のキャッシュレス度 	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報(資産・収入・貯蓄、お金の使い方、生活行動、金融行動) 個人間支払い 主要決済手段利用動向(クレジットカード・デビットカード・プリペイドカード・電子マネー) QRコード決済アプリ EC向け決済手段(キャリア決済・POSA・後払い) お店独自のアプリ Fintech (フィンテック)

詳細調査セグメント詳細

勤労状況	世帯年収※1	生計上の立場	セグメント名
学生	-	-	①学生
現役 ・ 経営者 ・ 会社員 ・ 公務員 ・ 自営業 ・ 自由業 ・ 専業主婦 ・ 専業主夫 ・ パート ・ アルバイト ・ 無職	世帯年収 高 (800万円以上)	扶養者(独身含) or共働き	②世帯年収高&稼ぎ手
		被扶養者 ※2	③世帯年収高&専業主婦※3
	世帯年収 中 (400万円以上 800万円未満)	扶養者(独身含) or共働き	④世帯年収中&稼ぎ手
		被扶養者	⑤世帯年収中&専業主婦※3
	世帯年収 低 (400万円未満)	扶養者(独身含) or共働き	⑥世帯年収低&稼ぎ手
		被扶養者	⑦世帯年収低&専業主婦※3
年金受給者	-	-	⑧年金受給者

※1 世帯年収…独身の場合、親などの同居者の年収は含まない

※2 被扶養者…「個人年収130万円以上(税込)」もしくは「配偶者の個人年収(税込)の1/2以上」のいずれにも該当しない場合

※3 専業主婦…本調査の結果、被扶養者の大多数(約80%)が女性だったため、セグメント名は「専業主婦」としている

本リリース・調査に関するお問い合わせ

株式会社インフキュリオン・グループ コーポレート部 真田

株式会社インフキュリオン メディア・ラボ事業部

Tel : 03-6272-3924 Mail : pr@infcurion.com